

だいかん

1月22日（月）大寒

いちねんを24に分けると、季節は「大寒」になりました。大きく寒いと書きますから、意味が分かると思います。



だいかんは、一年で一番寒い季節です。冬の最後の季節でもあります。つまり、大寒が終われば、季節は春。この寒い時期を乗り越えると、明るい楽しい春が待っているのです。そう信じて寒さに耐えるのです。

この時期になると、ふきのとうが顔を出し始めます。ふきのとうは、「春の使者」とも呼ばれ、土の氷を破ってでも、つぼみを出すようです。今年はどうでしょうか。

また、大寒の日に食べる魚として、ブリがあります。このブリは、出世魚と言って成長していくと、名前が変わります。生まれた時は、「モシャコ」、それから大きくなっていくと名前を変えていきます。おもしろいですね。

ブリを食べて、ふきのとうが見られたら、あたたかい春が来る気持ちになりますね。

村越 新